



9月 町屋幼稚園だより

令和5年9月1日
荒川区立町屋幼稚園
園長 高田 大

暑さから子どもを守る

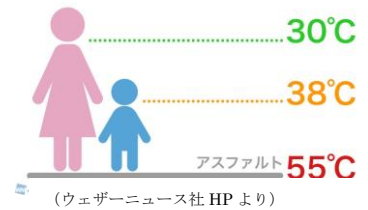
園長 高田 大

長い夏休みが終わり、今日から2学期の始まりです。どのような夏休みを送ったか、楽しい話や思い出話等々、子どもたちから聞くのが楽しみです。

さて、夏休みは終わりましたが、まだまだ厳しい残暑が続くとされています。今年は35度以上の猛暑日の日数が観測史上最多となっており、我々教員や保護者の子ども時代とは気候そのものが変わってきているようにも感じます。

既にご案内とは存じますが、子どもは大人に比べて熱中症リスクが高いとされています。その主な理由に次の3点が挙げられています。

- ①地面からの輻射熱（照り返し）で、大人よりも高温の状況下にある。
- ②汗をかく身体機能が未成熟で、体に熱がたまりやすい。
- ③遊びや活動に夢中で体の変調に気付きにくく、休憩や水分補給が十分でなかったり、変調に気付いても言葉でうまく伝えられなかったりする。



幼稚園でもこれらの知見を踏まえて、活動場所や活動内容を調整し、引き続き子どもたちを暑さから守ってまいります。来月の運動会に向けた活動も始まる9月ですが、何よりも子どもたちが健康を保って楽しく園生活を送れることを大切に進めます。2学期もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

《今月のねらい》



- 【年中】
 - 園生活のリズムを取り戻し、友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。
 - いろいろな運動遊びに親しみ、友達や教師と一緒に体を動かす心地よさを感じる。
- 【年長】
 - いろいろな運動遊びに興味をもって取り組み、友達と力を合わせたり競い合ったりしながら体を動かす心地よさを感じる。
 - みんなでする活動を楽しみ、友達とのつながりを感じる。

☆就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るための

教育課程の研究・開発委員会研究発表大会 9月22日（金）

町屋幼稚園と第七峡田小学校は令和元年度より東京都教育委員会及び荒川区教育委員会のモデル園・モデル校として、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続」を目指した取組をしています。教職員同士が、幼稚園（小学校）ではどのような遊び（学び）が行われているのかを理解することから始まり、子どもにとって大切な経験は何か、教員はどのような工夫が必要か、など互いに語り合い学び合い、保育（授業）実践を積み重ねてきました。その中で「5歳児から小学校低学年までを連続とした時期として捉えた指導計画」を作成し、質の高い保育（授業）を実践することを目指しています。子どもたちの学びが深まり主体的に取り組む姿勢が多く見られることを期待しています。

当日は区内幼稚園・保育園や小学校の他、都内の幼稚園や小学校など、多くの方々から5年間の取組の成果を参観にいらっしゃいます。幼稚園の子どもたちの楽しく過ごす姿を、小学校の意欲的に学ぼうとする姿を見ていただきたいと思っています。どうぞ温かく見守っていただきたいと思ひます。

